

家庭学習の手引き

自ら学ぶ子どもたちに



西条市立玉津小学校

保護者の方へ

小学校の学習は、将来自立するための基礎となるものです。特に「読む」「書く」「計算する」などは、欠かすことのできない「生きるための力」です。

玉津小学校では、一斉指導だけでなく個別指導や少人数指導など、「個に応じた指導」の取組などを通して、基礎学力を高めるための努力をしていますが、ご家庭と協力することで、更にその力が何倍にも高められます。

よりよい家庭学習の習慣化に向けて、この手引きをよく目にする場所に置いていただき、お子様の学力向上にお役立てください。

◎ 家庭学習における保護者の役割

1 学習時間の確保

短い時間でも、「必ず机に向かう」習慣を身に付けさせてください。「何時から何時まで勉強する。」ということ、家庭でよく話し合って、無理のないように時間設定をしてください。

2 学ぶための環境づくり

例えば、テレビをつけているなかで勉強しても、効果はあがりません。子どもが落ち着いた環境で学習できるように、各家庭でよく話し合い、工夫してください。

3 見届け・励まし

子どもが学習したことのできるだけ目を通し、声をかけたり、ほめたり励ましたりすることで、子どもはどんどんやる気を出します。子どもの様子を把握しながら、できるだけ一緒に取り組んでくださるようお願いいたします。

4 学校との連携

子どもの学習で、分からないときや迷ったときなどは、担任に遠慮なくお知らせください。



小学校 1・2年

基本的な学習習慣を身に付ける

1・2年生では・・・

「早寝早起き」「規則正しい食事」「朝の排便」など、基本的な生活習慣を身に付けることが学習習慣の定着に欠かせません。

家族の助けを借りながら、学校での学習を受け、学習内容や方法を決め、出来たことをほめることによって興味・関心を引き出し、意欲を高めることができます。



学習の特徴

- ・ 45分を1単位時間とした授業の中で、基礎的・基本的な内容を学習します。その中には、「読み」「書き」「計算」など、繰り返し学習することで力がたく学習内容がたくさんあります。
- ・ 生活と結びついた学習が多く、具体物を使ったり、実際に体験したりする学習が中心になります。
- ・ 「身の回りの整理整とんをする。」「正しい姿勢で座る。」「鉛筆を正しく持つ。」「明日の授業の準備をする。」など、基本的な学習習慣を身に付けることが重要です。

家庭での援助

- ・ 学習する場所を決め、整理整とんし、落ち着いて学習できる環境をつくりましょう。
- ・ 学習時間を決めて、家庭学習をするときには近くにおいてあげてください。
- ・ 学校からの連絡やお便り、明日の授業などを子どもと一緒に確かめることが大切です。
- ・ 一緒に買い物をしたり、時計を読んだりしながら、子どもの生活経験を増やしましょう。
- ・ 国語辞典や漢字辞典、その他の辞典類を身近に置いて調べる。

じどうのみなさんへ

□ おうちにかえったら

- ① つくえの上に、べんきょうのどうぐだけをおく。
- ② しずかなところで、べんきょうする。
- ③ 文字をていねいに正しく書く。
(しせい、えんぴつのもち方に気をつけて)
- ④ おさらいを大切にする。
- ⑤ けいかくちょう（かにさんノート）を見ながら、つぎの日の時間わりを合わせる。
- ⑥ 学校からのおたよりは、おうちの人にならず見せる。

□ じしゅ学しゅうのしかた

学習時間のめやす

30分ていど

- 1 しゅくだいをする。
(前のページやプリントにまちがいがあれば、かならず直しておく。)
- 2 じしゅ学しゅうをする。
 - その日の学しゅうのおさらい
(学校でならったことと同じようなべんきょうをじしゅ学しゅうノートにしたり、市販の問題集をしたりする。)
 - かん字れんしゅう
(1年生は、ひらがなやかたかなのれんしゅうも、しっかりとする。)
 - さん数のもんだい、けいさんれんしゅう
 - テストべんきょう
 - 読書

1年生のみ

んなは、2学期
くらいから、と
りくもうね。



5 家庭学習の時間について

学習時間のめやす（毎日これくらいの時間は頑張らせてください。）

////////////////////////////////////
1・2年生・・・30分程度
3・4年生・・・45分～60分程度
5・6年生・・・60分～90分程度
////////////////////////////////////

6 規則正しい生活をさせてください。

- 早寝（1・2年は9時、3・4年は9時30分
5・6年は10時までに寝る。）
- 早起き（6時30分までに起きる。）
- 朝食は必ずとる。
- 朝の排便をする。
- 自分で時間割や学習用具をそろえる。
- 家に帰ったら、早めに宿題をすませる。

※ 学習の大切なポイント

- ・勉強するときは、テレビを消す。
- ・よい姿勢で学習する。
- ・机の上を、きれいにかたづける。
(明るさにも気を付けましょう。)

◎ 家庭学習の参考例

国語 ・漢字練習・意味調べ・視写・読書
音読・日記など

算数 ・計算練習・ドリル学習・文章問題
・テストやプリントで間違えた問題を
もう一度解いてみる。

社会 ・理科・生活科など
・勉強したところに関係がある事柄を
本や辞典などで調べてまとめる。

市販のドリルや問題集、自主学習や読書などに
進んで取り組むこともいいでしょう。

7 家庭学習でのお願い

- (1) 学校からのおたよりを、かばんから出させます。
(連絡袋の確認)
- (2) 学校から出る「宿題」を最初にさせてください。
- (3) 時間が余ったら、「家庭学習の参考例」の中から選んでさせていただきます。(自分で考えたものでもかまいません。)
- (4) どうしても勉強にあきてしまうときは、読書やお絵かきなどでもかまいませんので、必ず机に向かわせてください。「机に向かう」習慣を身に付けさせることが大切です。
- (5) 終わったら、計画帳(かにさんノート・玉の子ノート)をチェックしながら、明日の時間割をあわせさせます。

8 生活の中で心がけたいこと

- 読書は「見えない学力」を高めるので、進んで本を読む。
- 国語辞典や漢字辞典、その他の辞典類を身近に置いて調べる。
- 日本地図や世界地図を身近に置いて調べる。
- 新聞を読んだりニュース番組を見たりして親子で話し合う。
- 自然や生き物とふれあい、くわしく観察する。
- 外遊びや運動をして、体力を高める。
- 家の手伝いを進んでする。

